

守山鯨城会便り

第 58 号

平成 31 年 2 月 発行

発行 名古屋市高年大学守山鯨城会
名古屋市高年大学鯨城学園



八ヶ村用水（由来碑）

目次

ページ

「30年度を振り返り」	会長 寺尾 守	1
同	副会長 鈴木 敏邦	2
同	副会長 井上 米子	2
同	ボランティア委員長 鈴木 英臣	3
同	守山鯉城会幹事 酒井 淳二	3
同	行事委員長 岡部 正幸	4
同	総務委員長 森 栄治	4
<地域会>		
守山東地域代表	新美 徹三	4
守山西地域代表	森 晴久	5
守山北地域代表	加藤 幸男	5
大森地域代表	服部美代子	5
大森地域代表	三宅 賢一	6
志段味地域代表	三浦 豊臣	6
30年度主な行事の写真	広報委員会	7・8・9
<投稿>		
画家・アメディオ・モディリアーニに魅了されて	奥村 隆司	10
大東亜戦争前後の回顧	松原 博	11
30年度「趣味の作品展」作品紹介	広報委員会	12・13
お知らせ・編集後記		14

八ヶ村用水

明治9（1876）年の取水位置の変更により廃止された御用水の上流部水路と郷合川の水源を併せ、八ヶ村（川・牛牧・大森垣外・大永寺・金屋坊・守山・孝心・瀬古）の灌漑目的の水路である。昭和29年、国費による大規模な築堤改収が施工された。

守山鯨城会

守山鯨城会 会長 寺尾 守

(29期 園芸 守山西)



「30年度を振り返って」

今年の守山鯨城会は、242名の会員数でスタートしました。

楽しく、和やかな組織でありたいと思います。

各種の行事を通して、期待感、満足感を体感して会員相互の一層の親睦と健康の保持が図れるよう実現したい。

30年度の取り組み

- ① 会員相互のつながり
 - ・地域活動の担い手を育てる
 - ・ミーティングの重視
 - ・学園現役生の諸行事への参加推進
- ② 守山鯨城会30周年記念事業の取り組み
 - ・行事案、予算、内容

会員力を合わせて30年度の活動を実りあるものにしたと思います。

会員の皆さん宜しくお願い申し上げます。



30年度を振り返り

守山鯨城会副会長

鈴木 敏邦 (29期 文化B 大森)

30年度は、がらにもなく守山鯨城会の副会長としてスタートし、役員会では会長の傍に座らされ、何を発言していいのか、出しゃばっていいものか、悶々とまでは行かないとしても、それなりに気苦労の多いポジションであったと思った次第。

日々の行事については過去にも経験があり、慌てることなく対処できていたと思いますが、来季への役員交代の話になって、さ一困った。手が拳がらない。

冷静に分析すると30期、31期生は会員も少なく、現在の大きな問題の少子高齢化が形を変えて鯨城会にも影響を与えてきたと思います。

今までは60歳定年で余裕があれば高年大学に通い、卒業したら鯨城会と言った流れが、70歳まで現役が珍しくもなく、32期、33期生の参加が先細りしているのが原因ではと思った次第。

ボヤいていても仕方が無い。さ一どうするか。それは後のお楽しみ！！

守山鯨城会副会長

井上 米子 (29期 文化A 守山)

守山鯨城会に入会し三年が経ちました。

30年度に副会長という役名をいただき、先輩方の足でまといにならないようにと、私なりに頑張ってきました。

副会長の一人として、各区16区の作品展を見学しました。各区ともそれぞれの特色があり、勉強になり、また楽しく拝見させていただきました。

名古屋をあまり知らない私は、天白・中川・緑と行くのに二時間余りもかけてきましたが、景色が全然違って、名古屋って広いなと感心しながら行きました。

このような経験が出来たのも、鯨城会に入ったからだと感謝しております。

この一年は忙しい忙しいと過ごしてまいりましたが、終わってみると楽しいことばかり思い出しています。皆さま本当に有難うございました。

ボランティア委員長

鈴木 英臣 (30期 地域B 守山)

<今年の夏は暑かった！>

梅雨が短く雨が少なく、花や、野菜には過酷・・・我々人間も夏の猛暑にはまいった！

7月10日夏の小幡駅前花壇のマリーゴールド苗植え付けでは、51名の参加を得て約500株の苗を1時間で植え付け終了。

12月初旬になる今も咲いていて道行く人に楽しんで貰っています。

これも夏の日各地域が水遣りに精を出したおかげです。

玉野川学園の花壇、農園の水遣りでも各地域の方に参加頂きました。

猛暑で里芋の育成が気になりましたが、10月20日のいも煮会では美味しく里芋をいただきました。

前日にはいも煮会用食材の前処理で、多数の女性会員の皆様の多大なる協力を得ました。その他会員は色々な役割分担で作業をし、当日のいも煮会を成功させたと思います。

<毎月定例のボランティア活動>

○ 定例の守山区役所を中心にした町美化運動、玉野川学園の花壇、農園管理。

<その他のボランティア活動>

○ デイサービス湯～楽の夏祭りの盆踊り。

○ 名古屋市こころの絆創膏キャンペーン。

○ 鶴舞公園クリーンキャンペーン。○堀川清掃大作戦。○守山区福祉まつり

○ 31年3月にはマラソンフェスティバルナゴヤ・愛知2019があります。

ボランティア活動の後のお茶がたのしみです… 皆さんよくしゃべり、よく笑う！
きょういくが大事 すなわち「今日行くところがある」

守山鯉城会の皆様方には気楽に最初の1歩を踏み出し
”健康で 楽しく、笑いがある” のが生き甲斐にも
つながるのかな、と思う今日この頃です。

皆様方にはボランティア活動参加ありがとうございました。

今後ともよろしく願いいたします。



守山鯉城会幹事

酒井淳二 (30期 地域A 守山)

平成29年4月より守山鯉城会幹事として2年間活動させて頂きました。
最初の1年間は訳も分からぬまま会議、行事に参加していました。

2年目の30年度になって、各区の幹事とも親しく意見交換をし、各区鯉城会の状況も少しずつ理解出来る様になりました。個人的には、各区鯉城会に多くの知り合いが出来、幹事となって大変よかった、と思っています。鯉城会自身は入会率の減少に歯止めをかけるべくまだまだ変革の途上です。引き続き皆様のご支援をお願いします。

行事委員長

岡部 正幸 (30期 国際A 守山西)

イベント(行事)は計画が出来上がれば半ば済んだ様だと言われるが、其抛に携わる者にとっては簡単なことではなく“時間”と“手数”が掛かるものであり、経験をした人は納得する。鯨城会行事委員会の二大イベント『趣味の作品展』及び『日帰りバス旅行』も会員の皆様のご協力により恙無く日程を終えることが出来ました。

作品展の出点数も昨年度と引けを取る事無く又作品も誉が高い秀作品ばかりでした。

一方来場者数も北鯨城会との同日開催(相乗効果)で百数十名増加しました。

日帰りバス旅行は、当初40名の参加予定で予算を計画しましたが、行事委員の努力不足もあり・・・参加者の皆様に御負担をおかけいたしました。(参加者は33名で500円の協力金をお願いしました)今回は一部コースの選定に甘さが伺えた懸念があったとの反省を踏まえて、今回は納得戴けるコースの選定と当初予算を超えない旅行にしたいと思っております。会員の皆さまの御支援・御力添えを御願います。

総務委員長

森 栄治 (30期 園芸 守山東)

総務委員としてはや2年が経過しようとしています。今年は平成の時代が終わり5月には新しい元号の時代が始まります。まさに自分の生まれた「昭和が遠くになり」にけりです。この1年間守山鯨城会では、様々な活動の取り組みが行われましたがクラブ活動等と重なり十分参加することはできませんでした。

今後も新たな気持ちで皆様と一緒に活動に参加していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

守山東地域代表

新美 徹三 (29期 国際A)

百花咲き競う季節 4月から今では朝夕寒気が肌を刺す師走の街中に クリスマスのイルミネーションが華やいでいます。月日が経つのは 本当にあつという間です。

地域会の事情で、いいのか悪いのか良くわかりませんが私は前年度に続き東地域代表の役割を担って来ました。主な役目は前年度と同じく鯨城会役員会議でプレゼンテーションされたその会議録を整理・補完後、地域例会・元町会で報告・説明しました。

又、欠席者の為に関係資料・印刷物入りの大封筒を配付していただくよう各地区委員にお願いしました。地域会の皆さん とは一泊二日松ヶ島での地域例会・歓迎会、忘年会、木曾川鵜飼い見物、町美・駅前花壇水遣り等のイベントと一緒に楽しみ汗を流す活動が出来た事は良い思い出となりました。唯、地域代表としてきめ細やかな心配りが十分でなくご期待に沿えなかった事は申し訳ございませんでした。来年度は一会員として陰から支え出来たら幸いに存じます。ありがとうございました。

守山西地域代表

森 晴久 (29期 地域B)

30年度もあっという間に過ぎて、この1年を振り返ることとなりました。

今年度は地域代表としての役を仰せつかり、会員の方々のご協力で諸行事も終えることができました。有り難う御座いました。

この数年の間に地域会の抱える課題として、年々新会員の加入者が減少して地域役員の受け皿が少なくなり、従来の組織体制や活動範囲を見直す時期に差し掛かっていることを強く感じております。(会員の減少は鯉城会、区鯉城会共通の課題)

当面は現状の会員で、卒業期を関係なく地域役員を引き受け、お互いに協力して運営をする必要がありますので宜しくお願い致します。

「地域企画を開催して」

守山北地域代表

加藤 幸男 (29期 環境)

もう1年過ぎてしまいました、ポジティブに捉えましょう。北地域会では下記の活動が行われました。(期間 2018/04-12)

- 1 「地域会」 気楽に参加しようとの趣旨でランチ会を隔月(事前申し込み不要)で開催しました。
- 2 「鯉城会」 6月裁判所見学 7月小幡駅前苗植え、湯～楽夏祭りボラ 8月アサヒビール見学、小幡駅前玉野川学園水遣り、9月名古屋城見学 10月鶴舞クリーンキャンペーンボラ、趣味の作品展、いも煮会 11月堀川清掃ボラ、守山福祉祭りボラ、日帰りバス旅行、トヨタ産業技術館見学、のべ95名参加。

その他に毎月町美、玉野川学園定例会ボラの活動を行いました。

大森地域代表

服部 美代子 (30期 国際A)

守山鯉城会の最大のイベントは玉野川学園で行う「いも煮会」です。

今年は10月20日(土)おこなわれました。10月18日(木)定例会で「里いも」と「さつまいも」を掘り19日のお手伝いの方で、芋を洗ったり「カマド」の準備をしました。当日は天気も良く、受付を済ませそれぞれの担当として、机や椅子を出し準備完了。

オープニングは学園の生徒さんによる「和太鼓」の素晴らしい演奏でした。

その後それぞれの持ち場にて、生徒さんと一緒におにぎり・焼きそば・バーベキュー、そして「里いも」とお肉の具沢山のお汁が作られ、皆さん“おいしい”と言いながら舌鼓を打ちながら楽しい思い出となりました。

森孝地域代表

三宅賢一 (25期 園芸)

三度目の代表ももう十二月、大した事もできずに終わりそう。残り三か月終活もしながら、次年度の事も考えながらと思っています。

が、先ず代表の代替わりが出来るか？未透視が立たないのが現実。地域会の皆様にとっても、思考が違う方が引き継がれることで組織が活性化されて、会員皆様の意欲UPにも繋がるのではと期待をしているところです。

取りあえず十二月まで会員の皆様と一緒に活動した実績は、行事参加者数昨年232名に対し4名増の236名でした。皆様ご苦勞様、有難うございました。来年度は次の方に期待！頼みまへす。

志段味地域代表

三浦 豊臣 (29期 地域A)

守山鯨城会に入会して、3年が過ぎようとしています。

本年度を振り返り一番に思うことは、会員の減少に歯止めがかからず今後もその傾向が見込まれることです。

これは私たちの組織に魅力がないからか、では魅力ある組織はどんな状態をいうのだろうか。私たちの活動が前例踏襲で良いと考えてないだろうか。改革しようとするれば面倒でしんどい、だからしたくない意識がある。誰かが行ってくれるという甘えもある。

もっと皆に意見を求めて、それを取捨選択し、活動していく姿勢が弱かったのか、いろいろ考えてみましたが、それに対する妙案が浮かんできません。

ただ一朝一夕に解決するとは思いません。「教科書」もないと思います。

日常的にコツコツと人とのコミュニケーションをすすめ、交流を深めるのが大切ではないかと考えています。

30年度の地域企画実績

実施日	担当地域	企画内容	参加人員
6月19日	守山	名古屋裁判所見学会	54名
8月3日	守山東	アサヒビール名古屋工場見学会	38名
9月26日	守山西	名古屋城本丸御殿見学会	66名
11月28日	守山北	トヨタ産業技術記念館見学会	54名
1月24日	大森	守山鯨城会新年懇親会	65名
3月19日	森孝	市科学館プラネタリウム鑑賞と太閤ランチ	実施後報告

「30年度の主な行事を写真で振り返ってみます」



第28回
守山鯉城会総会
4/10



守山区
役所に
集合の
後清掃
6/12



32期生地域
ミーティング
アクロスにて
6/20



名古屋裁判所
6/19



アサヒビール
見学 8/3





今企画の西地域代表から「4班に分かれ、それぞれガイドさんが案内します」との説明があり。

名古屋城本丸御殿は、尾張藩主の住居かつ藩の政庁として1615年（慶長20年）徳川家康の命により建てられる。この本丸御殿は近代城郭御殿の最高傑作と言われ、1930年（昭和5年）に国宝に指定された。昭和20年の空襲で建物のすべてを焼失。平成21年から復元工事が始まり、平成30年6月に完成公開となりました。



30.10.10.~14 「趣味の作品展」
於：市民ギャラリー矢田 4階展示室

作品展示数 52点
来場者数 601名

* 出品者の全作品を巻末で紹介しております。



11月28日に開催された
トヨタ産業技術記念館



30.10.20 五野川学園「いも煮会」



秋晴れの中、生徒の皆さんの「太鼓演奏」で幕開けとなる。練習の成果発表となりました。



六華苑をめぐる三重日帰り旅行 30.11.14



行事委員長の挨拶、
32名で出発



講座室にて



語り部より



2018.11.14

午前中の約2時間で四日市における公害発生の歴史、公害裁判についての「語り部」の話と、二グループに分かれ「四日市公害裁判シアター鑑賞」と「展示エリア：四日市の当時の写真や暮らしの再現を鑑賞」



桑名六華苑



随想

画家・アメデオ・モディリアーニに魅了されて

奥村 隆司 (文化A守山)

10月中旬頃、新聞に名古屋市美術館がザ・ベストセレクション名古屋と大きく宣伝し名古屋美術館の“看板娘”モディリアーニのお下げ髪の少女が大きく載っていました。このモディリアーニの作品については、在職時代大きな思い入れがあった事を思い出しました。

20年以上前のことですが、その頃名古屋支社に在職、社長が新しく代わり、名古屋支社に来訪するとのことで待機、面談中に「美術館に行きますか」と聞かれ、時々行きますと回答したところ「現在名古屋市美術館でモディリアーニ展が開催されており、この画家の作品はおそらく今まで見たことがない作風で印象に残るから鑑賞すると良い」と勧められました。しかし多忙で美術館に行く事ができず放置していました。

その後本社(大阪)で会議があり、社長に面談するため、必ずモディリアーニの感想聞かれると思い慌てて名古屋市美術館に行きモディリアーニ展を鑑賞しました。館内に入るとほとんどが、油彩の肖像と裸婦で風景はなく、顔と首が異様に長いプロポーションで目に瞳が描き込まれておらず特異な絵画で驚いてしまいました。しかし、各作品とも何故か引き込まれてしまう魅力を感じてしまいました。この魅力が、社長に勧められた理由と理解できました。

本社で会議の後、社長に会い、モディリアーニ展を鑑賞した旨伝えたところ感想を聞かれたため、今まで見た絵画と違い何故か強い印象を受けたと回答したところ、「貴方はモディリアーニにとりつかれ、これからは新しい作品を絶えず探すと思う」と笑いながら答えられました。

その後、社長の推察通りモディリアーニの作品、画集等を探し、モディリアーニの虜となってしまう。作品収集は在職時代の約10年で複製画70号をはじめ10点を集めその後興味がうすれ、以後収集していません。現在は室内に飾り時々眺めています。

○ モディリアーニのプロフィール及び逸話を記載しておきます。

生誕 1884年7月12日 イタリア王国リブオルノー

死没 1920年1月24日(35歳没) フランスパリにて

1906年パリに移住 美術学校に入学 各種展覧会に入選 新聞等で高く評価される。

1909年モンパルナスに移住 多くの画家、彫刻家と交流 知遇を得る

その後、裸婦像が警察にわいせつとされ、作品を没収される、そのため貧困に喘ぐ

さらに、結核性髄膜炎にかかり、1920年1月24日35歳で没

後年の評価 モディリアーニの生涯は伝説化しており映画化もされている。

○ モディリアーニの作品はナチスドイツも注目、第二次世界大戦の最中に略奪され
2016年スイスのジュネーブで発見、押収された



回顧録

“平成”が終わろうとしています。更に「昭和」が遠くなります。

<大東亜戦争前後の回顧>

松原 博 (9期生 守山 園芸)

自分誌の中から摘出列举して見ました

当時の混乱した世相を思考して見て下さい

1, 私の給料

昭和 15 年 トヨタ自動車工業 (株) 入社、準社員見習 日給 1 円 40 銭
昭和 25 年 販売会社転籍 月給 14, 730 円

2、世情 昭和 20 年 食料不足からインフレが顕著

21 年 新円切替・預金封鎖

22 年 GHQ の農地改革・ゼネスト中止命令

24 年 為替レートの設定、弗 1 = 3 6 0 円

3、インフレ 昭和 20 年と 23 年の「物価」比較

品名	20年	23年	倍数
豆腐	20 銭	8 円	41 倍
卵 6 個	1 円 50 銭	93 円	62 倍
コーヒー	5 円	20 円	4 倍
焼酎 1.8ℓ	8 円	728 円 50 銭	91 倍
ランドセル	12 円 27 銭	700 円	57 倍
鉛筆	20 銭	5 円	25 倍
新聞	2 円 70 銭	44 円 75 銭	17 倍
理髪	3 円 50 銭	25 円	7 倍
入浴料	20 銭	10 円	50 倍
ガソリン	1 円	14 円	14 倍
公衆電話	10 銭	1 円	10 倍
巡査初任給	80 円	2, 340 円	39 倍

4、宝くじ

昭和 20 年 7 月 第 1 回勝札 1 枚 10 円 1 等賞金 10 万円
10 月 第 1 回宝くじ 1 枚 10 円 1 等賞金 10 万円
21 年 9 月 第 1 回三角くじ 1 枚 10 円
第 3 回宝くじから風車式抽選機導入
22 年 12 月 第 9 回宝くじ 1 枚 50 円、特等賞金 100 万円
以上

第16回 『趣味の作品展』 守山鯨城会

平成30年10月10日(火)~14日(日) 市民ギャラリー矢田

< 出品されました皆様の力作です >

敬称略

 <p>No.1 27期 三浦 勉</p>	 <p>No.2 28期 齊藤 誠</p>	 <p>No.3 29期 海野真人</p>	 <p>No.4 30期 加藤和子</p>	 <p>No.5 20期 安藤恵彦</p>
 <p>No.6 31期 小田井庄平</p>	 <p>No.7 20期 金井 修</p>	 <p>No.8 17期 塩澤夕エ子</p>	 <p>No.9 19期 木村 厚</p>	 <p>No.10 22期 金田主美子</p>
 <p>No.11 24期 奥村隆司</p>	 <p>No.12 27期 藤村加代子</p>	 <p>No.13 17期 伊藤喜代蔵</p>	 <p>No.14 23期 浅井保司</p>	 <p>No.15 31期 松本直良</p>
 <p>No.16 29期 寺尾多美子</p>	 <p>No.17 32期 渡辺ヒサエ</p>	 <p>No.18 33期 岡田純子</p>	 <p>No.19 14期 加藤義公</p>	 <p>No.20 17期 田宮幹夫</p>
 <p>No.21 17期 田宮幹夫</p>	 <p>No.22 26期 早川喜代美</p>	 <p>No.23 27期 植村初代</p>	 <p>No.24 27期 植村初代</p>	 <p>No.25 森孝 25期 三宅賢一</p>

				
<p>No.26 26期 衛藤孝義</p>	<p>No.27 26期 衛藤孝義</p>	<p>No.28 28期 岡田心み子</p>	<p>No.29 17期 大原宏一</p>	<p>No.30 29期 今泉文雄</p>
				
<p>No.31 13期 荒川清和</p>	<p>No.32 21期 鈴木克美</p>	<p>No.33 28期 中村克彦</p>	<p>No.34 28期 中村克彦</p>	<p>No.35 29期 野村和長</p>
				
<p>No.36 29期 野村和長</p>	<p>No.37 21期 小柳敏男</p>	<p>No.38 29期 米山二美江</p>	<p>No.39 21期 吉田 豊</p>	<p>No.40 26期 岩田 繁</p>
				
<p>No.41 29期 海野真人</p>	<p>No.42 29期 加藤幸男</p>	<p>No.43 29期 加藤幸男</p>	<p>No.44 20期 寺尾賢一</p>	<p>No.45 28期 山本正一郎</p>
				
<p>No.46 21期 鈴木克美</p>	<p>No.47 23期 浅井保司</p>	<p>No.48 28期 加藤章夫</p>	<p>No.49 29期 中崎 諒</p>	<p>No.50 25期 杉本三夫</p>
	<p>NO 51 29期 井上米子</p>		<p>NO 52 33期 木下境子</p>	

「趣味の作品展」出品作題名一覧

種別	NO.	題名	種別	NO.	題名	
絵画	1	ハウステンボスにて	写真	19	くらげの浮遊	
	2	曼陀羅寺の藤		20	世界農業遺産	
	3	ハイビスカス(ミセスユミ)		21	海の見えるローカル線	
	4	秋桜		22	たまやー	
	5	バラと甘〜い果物		23	串あれ(1)	
	6	絵手紙		24	串あれ(2)	
	7	紙煙の眺め		25	ラッキー!!!	
	8	DOLL		26	遠方より来たる	
	9	スカシユリ		27	厄よけの祟	
	10	休日の午後		28	落日	
	11	明治村 浪速亭		29	街角の想い	
	12	弘前城		30	ホップ・ステップ・ジャンプ	
	13	柘榴(ざくろ)		31	バラ	
	14	花の色比べ(冬と夏)		32	何者じゃ!	
	15	読書の庵		33	ペイエリア(1)	
	16	四季の花		34	ペイエリア(2)	
	17	(佐渡)宮根木集落				
	18	滝				
			パソコンペイント	35	イタリア プラーノ島水階街並	
				36	山に続く小道	
				37	鹿の花々	
				38	ざくろの実	
			水墨画	39	白 野菜	
			書	40	日々楽しく	
			陶芸	41	不揃いの酒器	
				42	湯呑	
				43	一輪挿し	
				44	花器	
				45	ひな人形	
				46	花瓶	
				47	勾玉(まがたま)	
				48	御深井(おふけ)随アラクルト	
				49	花器	
				50	ペア コーヒー カップ (白/緑)	
			手芸	51	着物も帯もちよつとひと手間で	
				52	手作り人形	

お 知 ら せ

名古屋市高年大学 守山鯨城会

第 29 回 通 常 総 会

日時: 平成 31 年 4 月 17 日(水) 午後 1 時 45 分

場所: 守山文化小劇場(アクロス小幡 3F)

編集後記

会員皆様、先輩諸氏のご協力と多くの方々からの寄稿をいただき「守山鯨城会便り 58 号」を発行することが出来ました。ありがたくお礼を申し上げます。

今年度、広報委員会として従来通り「便り 57 号 58 号」と共に「かわら版 27 号～30 号」を発行することもできました。今後とも皆様のご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

<本部広報委員>

伊豆克廣 (29 期 地域 B 志段味) 峰村道弘 (26 期 福祉 守山東) 角田 悟 (27 期 福祉 守山西)

<地域広報委員>

守山地域 奥村 隆司 (24 期 文化 A) 守山東地域 峰村 道弘 (26 期 福祉)

守山西地域 杉本 三夫 (25 期 陶芸) 守山北地域 岩田 繁 (26 期 園芸)

大森地域 山本正一郎 (28 期 陶芸) 森 孝地域 岡田ふみ子 (28 期 生活 A)

志段味地域 奥崎 三彌 (25 期 陶芸)